文化学習協同ネットワーク事業案内

KYODO NET | 認定特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク
事業案内 発行 2013年9月1日 URL http://www.npobunka.net

文化学習協同ネットワーク　事業案内

文化学習協同ネットワーク | 事業案内

はじめに	04
協同ネットのヴィジョン	05
『夢につづく道はどこ？』	06
『ゆるやかな空間でもう一度学ぶ』	08
『それぞれの色が輝く社会へ』	10
協同ネットの事業紹介	12
子ども支援事業	14
若者支援事業	16
生活困窮世帯の子ども・若者支援事業	18
協同ネットのあゆみ	20
おわりに	22

はじめに

文化学習協同ネットワーク（協同ネット）は、受験戦争が過熱する 1970 年代に、父母たちがつくる学習塾として誕生しました。それから 40 年。社会の変化とともに、子どもを取り巻く環境は、ますます厳しいものになりました。複雑な悩みを抱えた子ども、若者が増え、それにあわせて、私たちの活動の場も広がっていきました。

現代の子ども、若者は、メディアからネガティブなイメージで伝えられることも少なくありません。けれども、実際に子どもと向き合い続けてきた私たちは、一人ひとりが光るものを持っていることを知っています。やがて社会に出ていく彼らが、もっと自分らしく輝けるように、私たちは子ども、若者の伴走者として、走り続けます。

協同ネットのヴィジョン

将来の担い手となる子どもは、社会の財産。その子どもたちが柔軟にものごとを考え、困難にも対処するすべを身につけられるように支援することが、私たち協同ネットの役割です。ここからは協同ネットの掲げるヴィジョン（目標）や社会における役割をご紹介していきます。

夢につづく道はどこ？

猛スピードでものごとが消費されていく現在、多くの企業が過酷な生き残り競争にさらされています。余裕をなくした時代のなかで、助けを求めることもできず、さまざまストレスを抱えこんでしまう大人がいます。元気よく社会に飛び出していったはずが、ヘトヘトに疲れてしまった若者も少なくありません。
こうした社会や大人のあり様は、子どもたちの世界にも大きな影響を与えています。「安心できる場所がない」「将来やりたいことが見つからない」。そんな声がいつも私たちのもとに届きます。
子どもや若者が、夢につながる道を見出せない時代 ── それなら一緒にさがしていこう！
そこから私たちの活動はスタートしています。

ゆるやかな空間でもう一度学ぶ

協同ネットが一貫して行ってきたのは、学び直せる居場所づくりです。
学校での勉強や人間関係がなじまなかった子には、五感を使って考え、人とつながれる体験的な学びの場を。
社会の手前にいる若者には、働きながら自分を見つめなおせる中間的就労の場を。
こうした学びの場は、地域の人々、そして参加する子ども、若者自身が主体になってつくられます。自分の思いを素直に語り合える、ゆるやかな空間のなかで、子ども、若者はそれまで気づかなかった自分の力を発見します。そして同じような悩みを抱えていた友人と支えあい、次のステップへと踏み出す力をたくわえます。

それぞれの色が輝く社会へ

これまで協同ネットからは、大勢の子どもや若者が巣立っていきました。そのなかには、かつて社会とのつながりを持てずにいた人もいます。けれども、ゆるやかな学びの場で、主体的に生きる力を身につけた卒業生たちは、いま、新たな場所で自分の力を発揮し、周囲の人を支えています。

生きづらさを感じた子ども、若者がだれでも好きなときに学び直せる場を広げていくこと。そして、だれもが自分の色で輝ける、カラフルなにぎわいのある社会をつくること。

それが私たち協同ネットのミッションです。

協同ネットの各事業紹介

子ども支援事業

子どもが子どもとして生きられる、当たり前の社会をめざして

子ども支援事業

文化学習センター

NPO の前身である文化学習センターは、子どもたちを「学ぶ主体」に育てる学習塾です。地域の子どもがだれでも参加できるガリレオ教室では、科学実験の教室を開き、日常のなぜ、不思議を自分の手で動かし、自分の目で見て、自分の頭で考え、意見を交わします。

フリースペースコスモ

「どこか学校のほかに行ける場所、ホッとできる場所がほしい」。ある不登校の女の子のそんな一言から出発したコスモは、安心できる居場所、自分の中のエネルギーを蓄えられる場所です。また、冒険旅行、農業体験、職業体験を通した、生きた学びの場を提供しています。

コスモアミークス

集団で学ぶことに困難を抱えた子どもたちに対して、オーダーメイドの学びの場を提供します。また、小さなグループで話し合いや生活自立のためのルールを覚え、グループワークの楽しさを体験できる機会をつくっています。

若者支援事業

学校から社会へとつなぐ中間的支援機関として

若者支援事業

地域若者サポートステーション

厚生労働省の委託によって運営する 15 歳～ 39 歳までの若者の総合相談窓口です。学校から社会への「移行」がスムーズにいかない若者の相談にのり、一歩を踏み出すお手伝いをします。協同ネットでは、相模原、三鷹、練馬の 3 か所で、サポートステーションを運営しています。

フリースペース

若者がだれでも安心して参加できる活動拠点です。同じ場所に集う仲間と出会い、仲間関係を形成しながら、ボランティアや地域の行事、職場体験などに参加していきます。

働くことを学ぶ中間的労働の場

当法人が運営する、コミュニティベーカリー「風のすみか」、オーガニックファーム「ニローネ風のすみか農場」や地域の企業を舞台として、「働くこと」を学んでいきます。

協同ネットのあゆみ

第1期

父母運営の塾づくり運動開始

1974　中学生のための「勉強会」を三鷹市で開設
1985　父母運営の塾づくり運動に参加

第2期

不登校児の居場所づくり

1993　不登校児のためのフリースペース　を開設
1997　活動拠点である新学舎を三鷹に新　設する

第3期

NPO法人として　若者支援を本格化

1999　特定非営利　法人として再出発
2004　神奈川県　相模原市にて「風のすみか農場」開設
2005　三鷹市　にてコミュニティ・ベーカリー「風のすみか」開設

第4期

若者支援事業の拡大

2005　若者自立塾を開設
2007　三鷹サポートステーション開設
2008　生活保護世帯の子ども若者の支援事業開始

協同ネットのあゆみ

文化学習協同ネットワークはこれまで約 40 年間にわたり一貫して子ども支援を行ってきました。70 年代半ばに父母運営により始まった塾づくりを起点として、不登校に悩む子どもたちの居場所や就労支援、特別な支援を必要とする子どものためのプログラムなど、時代のニーズに合わせて活動の場を広げてきました。ここではその歴史を振り返りながら、現在に至るまでの協同ネットの主な活動を４期にわたって紹介します。

社会の出来事

1970
- 不登校が急増する

1980
- 校内暴力・いじめが社会問題に

1990
- バブル崩壊
- 就職氷河期各地で広まる
- 不登校児 10 万人を突破
- 労働者派遣法改正 26 の業種で派遣解禁に

2000
- ニートが 60 万人を越える 働けない大人の増加が社会問題に
- 労働者派遣法改正 製造業の派遣が解禁に
- 若者・自立挑戦プラン策定
- 世界同時不況

2010
- 年越し派遣村が　設けられる
- 相対的貧困率が 7人に1人の子　発表される どもが貧困状態との報告、それ以後拡大傾向にある

2020

委託事業・表彰実績

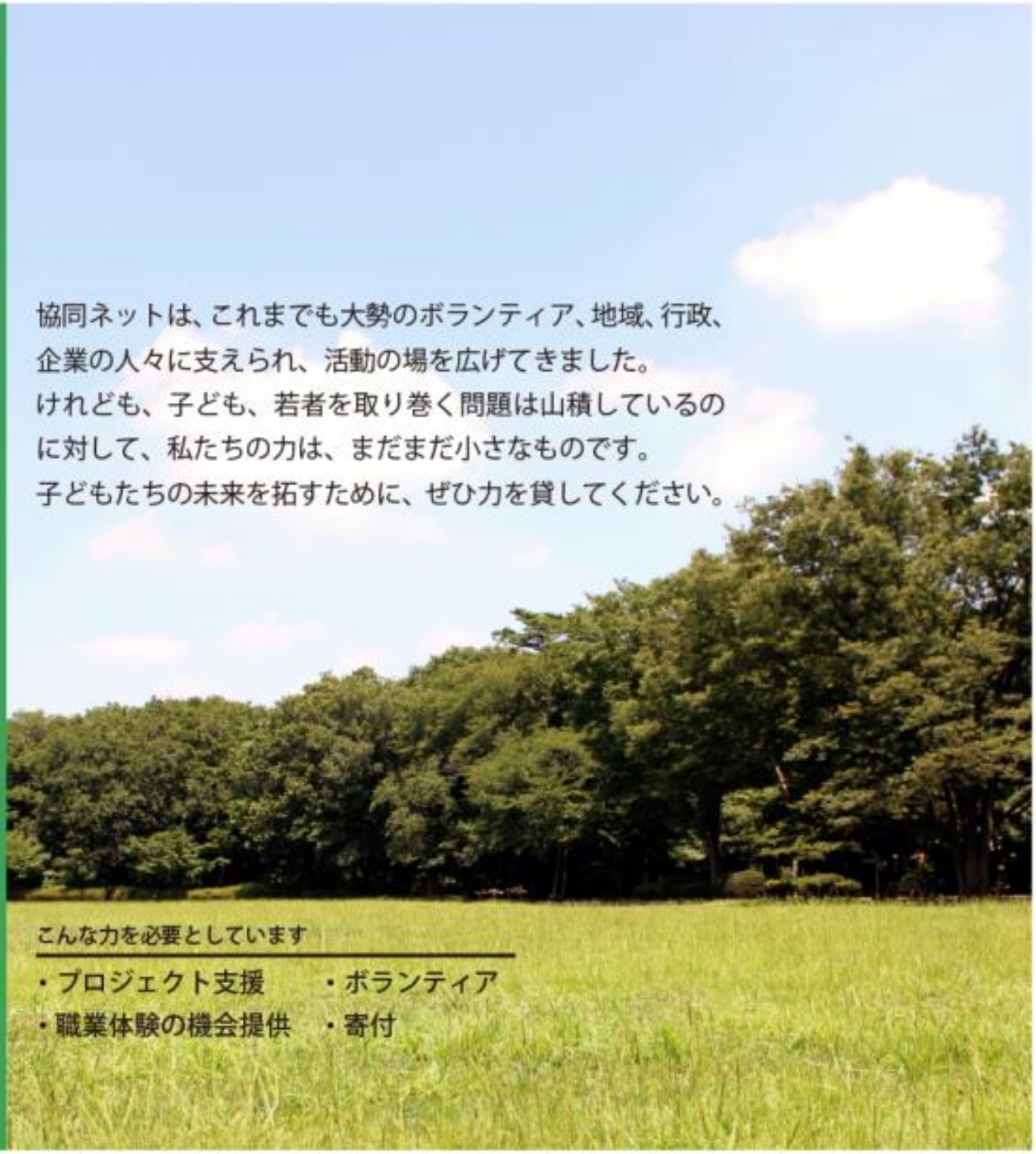
●受託歴
○厚生労働省
2005 ～ 2010 年　若者自立塾
2007 年～　みたか若者サポートステーション
2009 年～　さがみはら若者サポートステーション
2010 ～ 2011 年　基金訓練「社会的事業者等訓練コース（合宿型）」
2012 年～　求職者支援制度
2013 年～　ねりま若者サポートステーション
○文部科学省
2008 年～　生徒指導・進路指導総合推進事業
○内閣府
2012 年　相模原市パーソナル・サポート・サービス事業
○東京都
2008 ～ 2010 年　若者の居場所コンパス
○西東京市
2008 年～　生活保護世帯の子どもや若者の支援事業
○武蔵野市
2009 年～　生活保護世帯の子どもや若者の支援事業
○三鷹市
2010 年～　生活保護世帯の子どもや若者の支援事業。
2011 年～　NPO 法人 みたか都市観光協会と 3 者協働で「みたか都市・観光情報スポット「風の駅」を運営。「CAFE 風のえき」を開店。
○練馬区
2010 年～　生活保護世帯の子どもや若者の支援事業
○相模原市
2010 年～　生活保護世帯の子どもや若者の支援事業
2013 年　相模原市パーソナル・サポート・サービス事業

●表彰
2008 年　厚生労働大臣賞を受賞
2011 年　「子ども若者育成・子育て支援功労者表彰」特命担当大臣表彰を受賞

●認定
2012 年　東京都より若者社会参加応援事業の認定を受ける。
2013 年　東京都より認定 NPO 法人として認定を受ける。

おわりに

協同ネットは、これまでも大勢のボランティア、地域、行政、企業の人々に支えられ、活動の場を広げてきました。
けれども、子ども、若者を取り巻く問題は山積しているのに対して、私たちの力は、まだまだ小さなものです。
子どもたちの未来を拓すために、ぜひ力を貸してください。



こんな力を必要としています

- プロジェクト支援
- ボランティア
- 職業体験の機会提供
- 寄付

認定特定非営利活動法人
文化学習協同ネットワーク

法人本部　東京都三鷹市下連雀 1-14-3

団体設立：1974 年

法人設立：1999 年 11 月 16 日

2013 年 3 月 4 日認定 NPO としての取得を受ける

会員数約 200 名、有給スタッフ 88 名

その他ボランティア約 100 名

協力企業数　約 70 社

電話でのお問い合わせ

事務局　TEL.0422-47-8706

URL　http://www.npobunka.net

E-mail info@npobunka.net

文化学習協同ネットワーク
事業案内

企画・発行　文化学習協同ネットワーク
テキスト・コピー　野口和恵
撮影　高松智朗　中村孝太郎（commue design）
写真提供・強力　文化学習協同ネットワーク事務局
デザイン　commue design